

マルチコピー機に必要な環境整備の要件

- 1 キオスク端末の稼働を保守会社が監視できること。
- 2 通信の開始は全てキオスク端末が発信することとし、いかなる場合も外部からの通信の開始をしてはならない。
- 3 用紙を除く消耗品の消費を自動的に監視し、必要に応じて指定された部署へ速やかに納品すること。
- 4 マルチコピー機が自己診断により異常を検出した情報は、当該エラーを端末機提供会社の保有する管理システム上で自動的に認識できること、かつ、状況に応じサービス員を速やかに派遣すること。
- 5 マルチコピー機の利用実績状況は、端末機の提供会社の保有するシステムが管理し実績を通知等できること。
- 6 必要なシステムは全て閉域性を保ち第三者による侵入を排除すること。
- 7 証明書交付センターとの利用実績照合ができること、かつ、不整合に対する調査・解析は基より、地方公共団体情報システム機構への報告および修正ができること。
- 8 発行される証明書データは、マルチコピー機の提供会社の保有するデータセンター内では、いかなる場所にも保存しないこと。
- 9 証明書交付にかかるいかなるシステム構築および運用をマルチコピー機の提供会社によって行うこと。